



一致団結して思いを叫んだデモ行進

北方領土問題をもっと知って!

「北方領土返還要求アピール行動」12/11
「前原外務大臣北方領土視察」12/4

北方領土返還要求運動の始まりの日である12月1日、根室地域1市4町で構成される北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会が主催の中央アピール行動が東京都銀座で行われ、早期返還を求める「原点の声」を全国に発信しました。5回目を迎えたアピール行動は、ロシアのメドベージェフ大統領による

国後島訪問で、国民の関心が高まる中での実施となり、根室管内から参加した約60人をはじめ、全国から64団体500人余りが集結。初となる47都道府県の旗を掲げながら、「島を返せ!」「国民の世論を盛り上げよう!」とシュプレヒコールを響かせ、日比谷公園までの約2キロをデモ行進しました。沿道からは早期返還を熱く叫ぶ参加者に、温かい声援が送られました。また、JR新宿駅西口地下広場で開催された北方領土展には、たくさんの人が関心を示し、国民世論の高まりを実感することができました。



納沙布岬から四島を見つめる前原外相

12月4日には前原誠司外務大臣が、北方領土視察のために根室市を訪れました。沖縄・北方担当大臣を担っていた昨年10月以来の訪問で、上空と納沙布岬から島々を視察すると、「日本固有の領土である北方領土。1日も早く問題を解決したい。」と改めて思いを深めました。その後、北方四島交流センターで行われた対話集会には、元島民や返還運動関係者100人余りが参加。「領土問題は元島民の高齢化も含め、戦略を持ってしっかり解決しなければならぬ。」と語る前原外相に対し、参加者は「国民の関心が集まっている今こそ、世論を一気に盛り上げるべきだ。」と訴えるなど、活発な意見交換が行われました。原点の地の四島返還の思いを受け止めている前原外相に、大きな期待が寄せられています。



親子でふれあい体力アップ! 「おやこ元気アップ事業」12/11
文部科学省からの委託で、各都道府県で毎年4回開催される「おやこ元気アップ事業」が、日本レクリエーション協会などの主催で北斗小学校で開催されました。この事業は、親子で運動遊びの現状と課題を理解するために実施されているもので、30組の親子が、運動の必要性などについて学びました。お父さんお母さんと、早く遊びたいとわくわくしている子どもたち。ダンス「アイーダアイダ」の曲に合わせて、無邪気な体操を見せています。そんな姿に、お父さんも張り切りすぎてしまったようですが、親子のふれあいが深まった楽しい一日となりました。



浜の伝統料理、ぜひ食卓で! 「根室のおさかな漬物教室」 合同試食会12/15

浜ならではの魚の美味しい食べ方を伝えて、魚食への関心を高めようと、根室おさかな普及委員会の主催で開催された「浜の母ちゃん直伝! 根室のおさかな漬物教室」。11月27日から4回にわたり市内4漁協の女性部が講師を務めた教室は、4年目の今年も大人気。マスのはさみ漬けなど、伝統ある漬物の漬け方が80人余りに伝授されました。商工会館で開催された合同試食会は、漬物が食べごろになるのを待ちに待った参加者で賑わいました。おいしく漬かった漬物をほおばった参加者は、「とてもおいしい。家庭でも挑戦したい。」と満足していました。